

01

Tue 火曜日

たからものを さがそう！

memo

ていこくいの せいこう
定刻祈りに成功したらチェックしよう

使徒 16:1~5

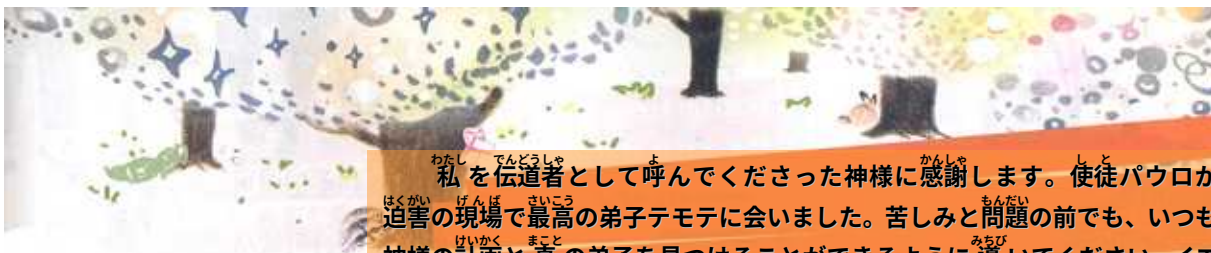
それからパウロはデルベに、次いでルステラに行った。そこにテモテという弟子がいた。^{しんじや}信者であるユダヤ婦人の子で、ギリシヤ人を父としていたが、(1)

「^{えんそく}遠足に行って、たからさがし遊びをしたことはありますか」

木の枝の上に、しげみの間に、じゃりの下に、おしこんでかくしてあるメモをさがすことは、とてもむずかしいです。でも、先生がかくしたところを、前もって知っているならば、かんたんに見つけられるでしょう！

てんとしや
伝道者





私^{わたし}を伝道者^{でんどうしや}として呼んでくださった神様に感謝^{かんしゃ}します。使徒パウロが迫害^{はくがい}の現場^{げんば}で最高^{さいこう}の弟子^{でし}テモテに会いました。苦しみと問題^{もんたい}の前でも、いつも神様の計画^{けいかく}と真^{まこと}の弟子を見つけることができるように導^{みちび}いてください。イエス・キリストのお名前によってお祈^{いの}ります。アーメン

福音^{ふくいん}を伝えていた使徒パウロは、石^{いし}を投げられ、氣^きをうしなって町の外^{そと}に捨てられました。しかし、ルステラにキリストの弟子^{でし}がいたので、すぐに目ざめて、また足をその町^{まち}に向けました。結局^{けっきょく}、神様が準備^{じゅんび}された弟子^{でし}であり、人々^{ひとびと}にほめられる弟子であるテモテを見つけて、いっしょに世界福音化^{せかいふくいんか}の伝道チーム^{でんどうチーム}として用^{もち}いられました。

「いちばん尊^{とうと}い宝^{たから}は、神様の伝道運動^{でんどううんどう}のために選ばれた弟子^{でし}です」

だれも発見^{はっけん}することができないように、しっかりと、かくしてておいてあり

ますが、どんな場所^{ばしょ}でも、その現場^{げんば}を生かす弟子^{でし}がかならずいます。

ただ神様と通^{つう}じる真^{まこと}の伝道者^{でんどうしや}の目にだけ弟子が見えるので、

私^{わたし}たちもパウロがテモテに

会ったように、神様が願^{ねが}う

弟子と会うように祈^{いの}りましょう。



02

Wed 水曜日

なぜ本を よまなければ なりませんか？

定刻祈りに成功したらチェックしよう

詩 1:1~6

幸いなことよ。悪者のはかりごとに
歩まず、罪人の道に立たず、あざける
者の座に着かなかった、その人。まこ
とに、その人は主のおしえを喜びと
し、昼も夜もおしえを口ずさむ。
(1-2)



「すぎた時代の人、遠い所にいたり、かんたんい
会うのがむずかしい偉人に近くで会えるなら、ど
れくらいよいでしょうか」

読書を通して、このような祝福された出会いがで
きます。直接、経験するのがむずかしいことで
も、その分野の良い本を読んでみれば、くわしく
そのことがわかります。

「道を行くときに、お金と本が落ちていたら、ど
うしますか」ユダヤ人は、まよわないで本からつ
かみます。「服を売って、本を買いなさい!」と子
どもたちに教えながら読書教育もよくします。ま
た時代をリードした成功者たちは、いつも手から
本をはなしませんでした。本を読む習慣を持つよ
うになれば、学校の勉強をやさしく、おもしろく
できます。多くの読書を通して考える力も大きく
育てることができます。どんなことでも最後まで
やりとげることができる忍耐力と集中力と
表現力を育てることができます。



父なる神様、おさないころから、読書の習慣をもって、エリート（エリート）の規律をあらかじめそなえることができるようにみちびいてください。勉強する習慣と、みことばを黙想することをとおして、福音エリートになりますように。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン

べんきょう せいこう き そ
勉強の成功の基礎は
どくしょ
読書だ

読書力 = 学習力

1. 読書をよくする子どもが成績もよい
2. ていねいに最後までよむ習慣をもとう
3. 読書のあとの活動が重要だ（読書日記をつけよう）

読んだ日時

著者

出版社

本の内容
(おもしろく)

読んで感じた点
(かんたん)

4. よい本を選んで読もう
5. 図書館や、大きな本屋に通い場のようによく行くようにしましょう

03

Thu 木曜日

さいし しょく 祭司の職を まかせられました！

✓ ● ● ● 定刻祈りに成功したら
チェックしよう

出 29:1~9

アロンとその子らに飾り帯を締めさせ、ターバンを巻きつけさせる。永遠のおきてによって、祭司の職は彼らのものとなる。あなたは、アロンとその子らを祭司職に任命せよ。
(9)

「モーセ！アロンとその息子たちに大祭司の職をまかせるために、あなたをきよめなさい」

神様は、荒野の道を行く伝道者モーセにおっしゃいました。祭司は、人々の罪を解決するために、神様にあがないのいけにえをささげる働きをした人です。

神様は、祭司を通して創世記3章15節の女の子孫、出エジプト記3章18節の犠牲のいけにえの主人公であるイエス・キリストの契約を民に知らせられました。犠牲のいけにえの上に手をのせたように、偉大な大祭司(ヘブル 4:4)であるキリストが十字架で血を流されて死なれたことによって、私のすべての罪とのろいと災いの問題まで、完全に解決されました。福音を持ったレムナントである私に、祭司の職があたえられました。神様がまかせられた祭司の使命をはたしながら、聖霊と真理によって礼拝をささげるとき、すべての現場ののろいと災いが消えます。今日、私が味わった祭司の祝福を伝える友たちの顔を今、思い出してみましょう。

わたし
＊神様は私たちに

どんな職^{しよく}をまかせられましたか？

左のページにアンダーラインを引いたことばを見つけて、
祭司^{さいし}の服^{ふく}を着^きたレムナントが持っている旗^{はた}に書いてね

memo

父なる神様。偉大^{いだい}な大祭司^{だいさいし}である

イエス・キリストが私^{わたし}のすべての罪^{つみ}を解決^{かいけつ}してくださったことを信^{しん}じて、
感謝^{かんしゃ}します。この時代^{じだい}に私^{わたし}にあたえられた祭司^{さいし}の職^{しよく}をよくはたすことができ
るようにさせてください。いつも礼拝^{らいはい}で勝利^{しょうり}して、福音^{ふた}を伝えられますように。
イエス・キリストのお名前^{いの}によってお祈^{いの}ります。アーメン

04

Fri 金曜日



祝福を 味わう こども

ていこくのせいこう
定刻祈りに成功したらチェックしよう

ローマ 16:7

わたし わたし どうごく
私の同国人で私といっしょに投獄
されたことのある、アンドロニコと
ユニアスにもよろしく。この人々は
使徒たちの間によく知られている
ひとひとで、また私より先にキリストに
ある者となったのです。

でんどうしや
伝道者パウロは、アンドロニコとユニアスに
「伝道者の同国人」というニックネームをつけ
てあげました。かれらはせかいふくいんか
世界福音化のために物質
と祈りで献身して、いのちまでもおしなかつ
たのです。

しやうだいきやうかい
このように、初代教会の弟子たちは、こんにち
で言うなら OMC(Oneness Mission Club)の祝福
を味わいました。OMC とは、福音を持った産業人
のけいざいきやうどうたい
経済共同体を言います。今のこの時間にも、
各自の現場でせかいふくいんか
世界福音化のために伝道者とレム
ナントを助ける福音エリート産業人が一人二
人ずつ起きています。

しゅうきやうだんたい びやういん ぶんかざいだん
多くの宗教団体が病院や文化財団、あるいは
学校などを立てて、すぐれた人材を育てていま
す。ユダヤ人は、おさな
幼いころから成人式を通して
せんもんせい
専門性を育て、世の中の文化と経済まで掌握し
ました。はやく伝道者の同国人になるほど、私の
せんもんせい
専門性を持ちましょう！それで、うばわれた
暗やみのけいざい
経済を光(福音)のけいざい
経済に回復して、
しんこう
信仰の次世代を立てるようになすことを祈ります。

神様、初代教会のアンドロニコとユニアスのように、福音のために伝道者といっしょに苦難を受ける信仰の専門家にならせてください。OMCを通して暗やみの経済を光の経済に変えて、次世代を立てさせてください。イエス・キリストのお名前によってお祈りします。アーメン



＊福音を持った産業人たちの共同体
OMC comeness mission club
のことばで、詩を作りましょう



one mission club





Sat 土曜日

おはなし黙想

05 殉教者の血が私の中に流れています

「あそこ行けばたしかに病気がなおるんだって」
「どこ、どこ？」

「西洋人がおはらいするところがあるでしょう。」

そこで死にかかっていたキムさんの
息子がなおったそうよ」

宣教師たちを通して病気で死んでいった
人々が生きさせて、チョンジュ地域に
うわさが立ちはじめました。

1911年「礼拝」ということばも知ら

なかった人々は「礼拝」を
「西洋のおはらい」と呼びました。

120年ほど前、神様に呼ばれた尊い
宣教師の涙と献身で、朝鮮族というまだ
伝道されていなかった民族の国に
福音の門がパツと開けられました。

「これからアジアを責任を負うべき民族
は韓国であり、韓国がアジア宣教の中心に
なるでしょう。」

そのためには1,000人の宣教師と
100万ドルの宣教費用が必要です。



チョンジュ・イエス病院の2代目の
院長だった宣教師(医療)は、福音に
ついての情熱が大きかったのです。
多くの宣教師が朝鮮に来るように
励まして祈りました。
梅雨の時期の伝染病で
スンチョンのコイト宣教師の
子どもがいのちを落としましたが
彼は、通りのあちこちで
朝から夜まで福音を伝えました。

世の中でもっとも驚くべき奇跡は、
初代教会で始まったこの福音が
私にまできたということです。
このことのために数えきれないほど、
多くの殉教者が血を流しました。

21世紀、韓国はいつのまにか殉教の血を貴重に思って世界に向かってキリストの
光を伝える民族になりました。私たちは福音を聞ける時代に生まれた
祝福されたレムナントです。みんながいっしょに立ちあがって福音を失った
霊的家族を探しましょう。いのちをささげる価値があるキリストの福音を
持って、今、私たちが進んで行く番です。



定刻祈りに成功したらチェックしよう